



特集記事

— 新人会員紹介 —

巻頭言 ～ 在宅医療を経験し感じたこと ～

目次

- ・活動報告 (2023年5月 ～ 2023年7月)
- ・特集記事 「新人会員紹介」
- ・私の職場の強み
- ・突撃！となりの作業療法士
- ・岐阜県リハビリテーション協議会便り
- ・新人会者・退会者数紹介



在宅医療を経験し感じたこと

各務原リハビリテーション病院
柳 生 浩 平

作業療法士免許を取得し13年目を迎えました。今年より各務原リハビリテーション病院に入職し、新たな環境に飛び込みました。まだ慣れないことも多々ありますが、仲間を支えていただきながら日々の業務に勤めています。今回、巻頭言を担当する機会をいただき、浅はかではありますがこれまでの経験から感じたことをお話しさせていただきます。

私は前職では主に急性期病院で勤務し、その後訪問看護ステーションで勤務いたしました。在宅ではご利用者様やご家族様、また他のコメディカルとの距離がより近い環境である点が病院とは異なる点です。私自身、これまでの作業療法士人生の中でクライアントに寄り添うこと、チーム医療の一員として他職種の理解に努めることを大切に考えてきましたが、より距離の近い環境に身を置き、まだまだ不十分であったことを痛感いたしました。

病院で臨床を提供する際はいわば「ホーム」で行うわけですが、在宅では「相手のフィールド」で行うこととなります。経験を積む中でわずかながら自信をつけていたつもりでしたが、「相手のフィールド」に入ることに對してのプレッシャーは全く異なるものでした。ご利用者様やご家族様に受け入れられなければそこで終わりだからです。そこで私自身の「顧客意識」が大きく変わりました。病院時代に患者様に全力で向き合おうとしてきたことに嘘はありませんが、どこか「ホーム」という環境に安心し、雑になって部分があったことに改めて気づかされました。業務が多忙になるとついつい忘れがちになりますが、この気持ちを忘れずに日々努めていきたいと思えます。

他職種連携についても学ばせていただきました。看護師やケアマネジャー等と近い距離で働き、他職種の方がどうご利用者様と向き合い、スケジュールリングして行動しているのか等の考えを聞かせていただき、より他職種への理解が深まりました。同時に、意見交換をする中で他職種への作業療法への理解も進む結果となりました。現在、作業療法はまだ世の中のみならず他のコメディカル内においても浸透しているとは言い難い現状です。まずは自分達から相手を理解しようとする姿勢がよいコミュニケーションを生み出し、よい循環につながると思えますので今後も大切にしていきたいと思えます。

私自身まだまだ若輩者であり、皆様に何かを語れるほど立派な人間ではございませんが、多忙な業務の中で上記のことは忘れがちになりうると思えます。

皆様にとっても普段の臨床を見つめなおすきっかけになっていただければ幸いです。

岐阜県作業療法士会 活動報告

2023年5月～2023年7月

【記載内容】

日付／内容（場所）

*備考（研修会のテーマ・参加者数など）

全部局

7月29日／岐阜県作業療法士会 理事会（WEB）

会長

5月14日／研修会

第一部 地域と繋がれ!岐阜県多“食”種連携

第二部 摂食・嚥下障害の評価と訓練

（朝日大学）

6月10日／日本作業療法士協会 48協議会

（WEB）

6月11日／岐阜県理学療法学会 来賓出席

（大垣市情報工房）

7月7日／日本作業療法士協会 講演会参加

（WEB）

7月11日／岐阜県リハビリテーション協議会

定例理事会（WEB）

副会長

6月26日／岐阜県循環器対策推進協議会

脳卒中医療連携部会（WEB）

事務局

総務部

5月8日／新人オリエンテーション

（ハイブリット開催）

総会運営部

6月25日／第13回定時社員総会

（平成医療短期大学）

社会局

広報部（会員向け）

5月31日／広報誌「ごったに」109号 発送

事業部

6月11日／務原市健康フェスティバル

地域リハ推進部

◆各務原市フレイル予防推進事業

5月19日／各務原ウォーキングアプリ評価委員会

5月23日／委員会

7月6日／サポーター養成事業

◆介護予防セミナー

（依頼：岐阜市中保健センター）

7月10日／介護予防セミナー（フレイル予防）

◆JAOT地域事業支援

6月23日／JAOT地域事業支援研修会

学術局

学術研究部

6月25日／学術研究会（ハイブリッド開催）

教育局

生涯教育部

7月8日、7月9日／臨床実習指導者講習会

地方局

西濃地区

5月12日／西濃OT症例検討会

（サンビレッジ国際医療福祉専門学校）

新人会員紹介



大場 悠華 出身校：岐阜保健大学短期大学部

業務に慣れることに手一杯で、患者様に良質なリハビリを提供することは、まだまだ自己研鑽が必要だと感じています。その人の大切な作業ができるよう、リハビリを通して、作業療法にしかできないことを患者様に提供できるよう努力していきたいです。

高橋 実采 出身校：平成医療短期大学
対象者1人1人に寄り添ったリハビリテーションができるようにしたいです。そのために、対象者とのコミュニケーションを密にとり、ニーズや目標、介入内容の共有を大切にしていきたいです。また、自己研鑽を頑張ります。



佐藤 桃菜 出身校：サンビレッジ国際医療福祉専門学校

患者様一人ひとりの、これまでと現在のライフスタイルや性格など、その人らしい生活を引き出すリハビリテーションを行ってきたいです。その為に、患者様とのコミュニケーションを大切にし、気持ちに寄り添っていくセラピストを目指していきたいです。

細山田 梨々花 出身校：平成医療短期大学
技術面では劣る部分はまだまだ沢山ありますが、自分でできることは精一杯行い、先輩方から技術を学び、そのスキルを自分の物とし、患者様が自分らしい生活を再び送れるようリハビリが提供できるよう努力していきたいです。



松浦 優希

令和5年度に山田病院に入職しました、松浦優希です。趣味は楽器を演奏することです。

部活は吹奏楽をやっていてクラリネットを吹いていました！私が作業療法士を目指した理由は、患者様の今の生活や今後の生活をより良くするという作業療法の考え方に強く惹きつけられたからです。今後は患者様の笑顔を引き出すことのできる OT を目指していきたいです！まだ至らない点が多いですが、日々努力し、一歩ずつ成長していきます！

堀 由宇花
中部国際医療センター リハビリテーション技術部 作業療法士の堀由宇花です。入職して3ヶ月が経ち、担当患者さんが増えるにつれて様々な視点から情報収集をし、全体像を把握することが大変だと感じています。まだまだ慣れませんが、患者さんが元気になって退院される姿を見ることや、お話をしながら一緒に作業をする時間はとても楽しく、やりがいを感じる瞬間です。今後は自分の興味のある分野について積極的に勉強し、正しい知識と安心感のある作業療法士になりたいです。





私の職場の強み

第27回



医療法人社団 慈朋会 澤田病院



診療科目

内科 / 外科 / 呼吸器内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 消化器外科 / 肛門外科
皮膚科 泌尿器科 / 整形外科 / 放射線科 / リハビリテーション科

2024年1月 新棟完成予定



澤田病院は、岐阜県岐阜市にあり、一般56床、医療療養164床、合計220床の病院です。「心ある医療」を基本理念とし、患者さんの尊厳と権利を尊重し、よりよい医療を提供できるよう、日々研鑽しております。

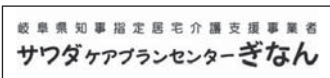
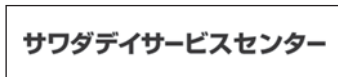
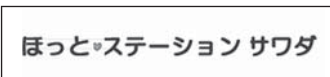
作業療法では、日常生活で「何が出来なくなってしまったのか」を評価・検査し、患者様に合った作業活動を選択して訓練や支援を行います。また、退院後の生活支援のため、環境調整や自助具の提案・作成も行います。

また、令和6年1月には新病棟増設、回復期リハビリテーション病棟新設に伴い、職員を増員して、患者様のため質の高い作業療法を提供していきたいと思っております。



作業療法室

関連施設 Related Facilities





精神科急性期病棟で 行っていること

大湫病院

川口好華



私は現在、精神科急性期病棟を担当しています。
疾患や患者様によって対応が違うため、日々学
ぶことが沢山ありとても充実しています。

一つ、今実施している活動の紹介をさせていただきます。

急性期の精神症状が顕著なため、病棟外に出る
ことが禁止されている方や、負担になるなどの理由で、OT 室に来ることの出来ない患者
様を対象に、病棟の一室を使い「つるし雛」を作る活動を行っています。

この活動は、幻覚妄想状態から現実に向けられることを目的に作業を提供しています。
患者様が「かわいい！完成が楽しみ！」と思ってもらえることで、モチベーションが上が
り集中して作業をしてもらえるよう工夫をしています。



危険物の管理や患者様の精神状態に注意しながら指
導するのは大変ですが、工夫が上手くいった時や、患
者様から「もう今日は終わり？」「楽しかった」等、幻
覚妄想状態から離れて現実で充実感を感じていただけ
た時には、精神科の楽しさを感じます。

出身校：理学作業名古屋専門学校
作業療法学科
職歴：大湫病院

一社) 岐阜県リハビリテーション協議会便り(第17回)

文責：会長 柴 貴 志 (岐阜県立多治見病院)

地球の温暖化ではなく“沸騰化”という衝撃的な国連の発表。森林火災、ハリケーン、豪雨、寒波、いずれも異常気象によるものですが、環境対策を早急に世界各国が足並みをそろえて取り組まないがために、さらに加速的に沸騰化は進みます。地球上に生命が存在できる期間は限られてきましたね。山本良一東大名誉教授のコメントでは「人類に残された時間はあと 20 年程度」と。これは5年前のコメントなので、後 15 年ということか…。人を殺したり、汚れたお金を手に入れたりね。戦争をしている場合じゃないですよ。

「それでも地球は回っている」、日々私たちは生活をしている。生活がしづらくなっている方々と共に生活を続ける。地球が終わる直前まで、誰もが一瞬でも心地よい瞬間を味わえることを想ってみることは、地域共生社会の根底を問うことになりますね。当協議会も地球の終わりを想って活動をしているわけではないですが、根底の魂に揺すられながら活動を続けます。





2023年7月

岐阜県全会員数 608名 (休会者を含む)

県士会所属施設 159施設

PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

リハノメ

PDF対応

法人様向けパンフレット お送りいたします

資料請求の手順

QRを読み込んでアクセス
または 3分30秒 資料請求はこちら

リハノメ HPトップのバナーをクリック

リハノメって?

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。

法人プランには、「法人管理機能」が備わっており、職員の視聴状況を正確に管理することができます。

どの講師か どの動画を 何分視聴したか

少人数向けプラン	リハノメパスA	リハノメパスB	リハノメパスC
6名視聴まで	10名視聴まで	30名視聴まで	人数無制限
2,566円/月 人数×2,566円/月となります。	15,400円/月 1人当たり2,566円/月で人数を追加できます。	30,800円/月 1人当たり2,566円/月で人数を追加できます。	92,400円/月 ※表記価格は全て税込となります。

リハビリテーションをかたちにする会社 **gene**

〒461-0204 愛知県名古屋市中区東1丁目26-12 IKKO 新栄ビル6階
Tel.052-325-6611

お問い合わせはこちらまでお願いいたします▼
seminar@gene-llc.jp

— 自分の給料は自分で決める時代 —

募集

次期社長

〈社長秘書からスタート〉

業務内容：各療法士として、地域づくり、その他幅広く誰かの為に勤務地：リハビリティサービスひまわり高山店または古川店、他全国

2014年/ 起業
・デイサービス2軒+訪問看護ステーション+スポーツクラブ経営

2023年/ スタッフ55名・年商約2億円
・今後5年で倍増を目指します

経営の勉強や、現地見学などのお問い合わせは
電話かメールでお気軽にご連絡ください

☎ 0577-77-9530 ホームページ
(リハビリティサービスひまわり 担当：田町 淳)

mail: dayhimawari83@yahoo.co.jp
HP: https://www.himawari-g.net/

印刷 (有) いすくら

〒501-2514 岐阜市三輪宮前 164-1
TEL.058-229-6091 FAX.058-229-6093
isukra@muse.ocn.ne.jp



中部大学

大学院生
募集

大学院 生命健康科学研究科
リハビリテーション学専攻(修士課程)

本大学院の特徴

- ①教育訓練給付制度(専門実践教育訓練講座)に指定
年間最大40万円の給付が受けられる場合があります
- ②職業実践力養成プログラム(BP)に認定
- ③Zoomを利用し、少ない通学頻度で学習可能
- ④「教育学に関する科目(4単位)」を科目を開講
※採用される養成校での審査が必要です
- ⑤研究費助成(2023年度実績:約20万円)
- ⑥博士課程での研究継続が可能



問い合わせ先

中部大学 生命健康科学部 事務室
E-mail: jimu-seimei@office.chubu.ac.jp
TEL: 0568-51-5097

リハビリテーション学専攻ホームページ

<https://www.chubu.ac.jp/academics/graduate-life-health/rehabilitation/>

広報部 (会員向け)

岐阜県作業療法士会ニュース

「ごったに」編集

岐阜県作業療法士会 (広報部・会員向け)

山田病院

〒501-0104 岐阜市寺田7丁目110番地
TEL. 058-254-1411
FAX. 058-254-1413

山内ホスピタル

〒500-8381 岐阜市市橋3丁目7番22号
TEL. 058-276-2131
FAX. 058-276-1501